

「山形県精神保健福祉士協会 2022 年度 第 5 回理事会」 会議録

(座長：後藤事務局長)

2022 年 8 月 24 日 (水) 14 時 00 分～15 時 30 分

1. 報告・承認事項

- ①日本精神保健福祉士協会よりスクールソーシャルワーカーお役立ちリーフレットの送付
- ②こころのフェスティバル実行委員会より後援依頼➡再承認
- ③山形県地域生活定着支援センターネットワーク会議➡後藤事務局長参加予定
- ④山形県地域包括支援センター等協議会より参与団体加入の案内➡承認。一般社団法人化に伴い再加入とする
- ⑤山形県社会福祉協議会より事業活動報告書の送付
- ⑥東京ソテリアよりイタリアボローニャ精神保健局の患者さん達で構成されるプロの演劇集団『アルテ・エ・サルUTE』の演劇の後援依頼と宣伝協力➡承認
- ⑦高齢者・障がい者の権利擁護に関する連絡会・こまくさ会議より
※鶴岡市よりこまくさ会議に研修講師の派遣依頼。虐待対応における高齢者及び障がい者支援機関の合同研修会について➡山形県社会福祉士会で派遣調整
- ⑧山形市自立支援協議会より要望調査
※各専門分野の具体的な仕事内容を知る機会等を要望

2. 活動・会議報告

- ①ソーシャルワーカーデー（県社会福祉士会・県医療SW協会との活動）について
※県内4エリアごとのオンライン3団体の交流親睦会については、当協会としては各地区のブロック理事で各エリアの担当とする。事務局はバックアップに。
- ②宮城県精神保健福祉士協会及び福島県精神保健福祉士会より豪雨災害のお見舞い
※8月の山形県における豪雨災害のお見舞いがありました。
- ③今年度の山形県精神保健福祉士協会の事業計画及び各部事業計画については次回の役員会で確定。※基幹研修Ⅰについては、最優先事項として遅くとも年内に実施。教育研修部でまずは計画策定。当協会の冬期研修については、①鹿野理事のポピーとの共催②こころの医療センターの斎藤さんより依頼のあったクライシスプラン研修のどちらかを実施で検討。その他山形県委託事業（相談会と研修会の実施）
- ④若年性認知症ガイドブックについて
※明日の完成発表報告会には高子理事が出席

⑤山形県障がい福祉課長との懇談会

※山岸事務局長が出席、参加専門職・関連団体が多く要望確認で終了。

3. 今年度の各部事業活動及び各ブロック支部事業活動の計画策定について

※次回役員会で各部ごとに事業活動計画を発表とする。ブロック支部事業についてはソーシャルワーカーデー（県社会福祉士会・県医療SW協会との活動）のエリアごとの3団体オンライン親睦交流会と連動。

4. 今年度の総会について総括

※総会での質疑応答にもありましたが、会員だけでなく一般の方への事業（定例相談会や研修広報等）の必要性。同じ精神保健福祉士でも各領域について深く知りたいとの要望もあり。オンラインの運営については、問題はないが研修とセットで会員の総会参加者を増やす等総会開催方法の全体の見直しが必要。

5. その他・参加理事より近況や思うことについて

※特に新型コロナ対応や今後の協会の在り方について。協会の在り方については、
いかに会員を巻き込むか。若手勉強会や月一回の会員オンライン交流会の検討。
山岸事務局次長を中心に有志で企画や実行計画を検討。ホームページの更新
情報発信と活用方法についても検討。

●以上理事会にて承認、決議・次回開催は9月15日（木）予定。

【出席者】	那須会長・後藤事務局長・山岸事務局次長・和泉理事・高子理事 計5名。
-------	------------------------------------